



物量漸次愈々増進の趨き慶賀は瘡可し新使
 の所得り之れを中々全病の事とな察し

相日本果の故は社會主義政黨の中途に在りて頻りに
 紛糾するが如く是受け中然國會開議の後兩三年に
 免かれ難きの現象ありき乎許多の政治問題の滞
 出するは此の色の異説を生ず可く請党を統率し
 衆員を調和するの任に當り者い夜を以て日お継ぐ
 の時あり可し若派党勢の優劣議員の衆寡小由て
 ハ國家の慶福を増減するが如く思惟して各派互に

競争を逞みすよ素より自然の勢にあり然れ共
 退て靜小情党派の個體目的を比較せし故て其間
 小著しき及對を見るとちき而もあらず言葉を齟あて、
 意を推せし各党同一の志小帰著する者い如し去れハ
 請党の分目すしせざるも暫く日本の政權ハ何人の
 手中小置くも其結果小至てハ右近得失の差
 等無きが如し内法の事時小或ハ重大なる問題ハ
 小お取りとせし方今の形勢より之を見れば國として我



日本社會の經濟を進め列國に對する我外交上の平均を恢復し或は國防の事或は國民の政界等寧ろ國家生存の外政問題あり我國の急務に非ざるやを疑ひ中然れ共是事をも嘗て國家の樞機を握り實地を練磨し社會の大局を明かすの人非れは是問題を解く可からず就ては^{若し國際を以て}常事の一途に改_め洲小遊の如く_とあるとあるは他は日本の常事ある可しとあるは然れ第_二と以て愚考を辭す

と斯の如し

ナリと云ふ

一 42 年

其字

ちんちん

大隈重信様

大隈伯下 大石

